

PA 連携 救急現場に消防隊も出場します

「救急車を呼んだのに、消防車まで来た！！」とびっくりされる場合もあるかもしれませんが、最近、消防車と救急車が同時に出場して連携し救急活動を行うケースが増加しています。

PA（ピーエー）連携って何？

PA 連携とは、救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急・救護活動などを行うことの総称です。消防ポンプ車（Pumper）と救急車（Ambulance）の双方の頭文字から「PA」として、全国の消防本部において広く使用されている用語です。

PA 連携の必要性と目的

救急出場要請が重なり、全ての救急車が出場している場合や、高層建物など救急隊だけでは傷病者の搬出が困難な場合に、消防隊が出動します。傷病者の救護や救命処置などをより迅速かつ確実にを行うことで、安全で安心な救急サービスを提供いたします。

消防車が PA 連携で出場する場合

- ・全ての救急車が出場中で、ただちに救急車が出場できないとき
（消防隊による早期の応急処置が必要なときに限る）
- ・傷病者が心肺停止状態（疑いを含む）にあるとき
- ・国道、高速道路等の交通量が多い場所で救急事案が発生し、傷病者や救急隊員の安全を確保する必要があるとき
- ・階段や通路など狭い場所や建物の上層階などで救急事案が発生し、傷病者の迅速な搬出が難しいとき
- ・ドクターヘリ等の傷病者搬送にかかる離発着の支援活動が必要なとき

サイレン音について

消防車が緊急で出場する時のサイレン音を区分して使用しています。

- ・【火災出場のとき】ウーカンカンカン（サイレン音と警鐘の併用）
- ・【火災以外のとき】ウーウー（サイレン音のみ）
 - ・ PA 連携出場
 - ・ 救助出場
 - ・ ヘリ離着陸場 支援出動 など

